

第 1 1 6 回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

平成 3 0 年 7 月 1 9 日（木）

沖 縄 総 合 事 務 局

第 1 1 6 回 沖 縄 地 方 交 通 審 議 会 船 員 部 会

日 時 平成 3 0 年 7 月 1 9 日 (木) 1 4 時 0 0 分
場 所 沖 縄 総 合 事 務 局 5 F 聴 聞 室 兼 会 議 室

出席者 :

公 益 委 員	宮 里 委 員、儀 部 委 員、春 田 委 員
労 働 者 委 員	漢 那 委 員、屋 比 久 委 員、柴 田 委 員
使 用 者 委 員	山 内 委 員、大 城 委 員

沖 縄 総 合 事 務 局 大 城 課 長、金 城 補 佐、仲 里 係 長

議 事 次 第

○ 開 会

○ 議 事

1. 第 1 1 5 回 船 員 部 会 の 議 事 録 承 認 に つ い て
2. 管 内 の 雇 用 状 況 に つ い て
3. 意 見 交 換

○ 閉 会

(配 付 資 料)

1. 第 1 1 5 回 船 員 部 会 の 議 事 録 (案)
2. 船 員 職 業 紹 介 実 績 等 一 覧 表 (平 成 3 0 年 6 月 分)

宮里部会長

定刻でございますので、第１１６回船員部会をはじめさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願いします。

事務局（仲里係長）

本日の出席状況ですが、公益委員３名、労働者委員３名、使用者委員２名が出席されており、船員部会運営規則第９条の規定により定足数を満たし、有効に成立していることを御報告いたします。

続きまして、配付資料の確認をさせていただきます。

（配付資料の確認）

宮里部会長

それでは、初めに第１１５回船員部会の議事録の承認について、お諮りします。

お手元に配付されています議事録を御確認ください。

原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

各委員

（「はい」）

宮里部会長

では異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議事２の「管内の雇用状況」につきまして、事務局に説明をお願いします。質問は、最後に受け付けたいと思います。

事務局（金城補佐）

平成３０年６月分の管内雇用状況等の概要について御報告いたします。

●求人状況について

新規求人数は１０件でした。前月に比べ９件増加、また、前年同月に比べ同数となっております。

月間有効求人数は１１件でした。前月に比べ３件減少、また前年同月に比べ９件減少となっております。

月間有効求人数１１件の内訳は、商船等１０件、漁船１件となっております。

月末未済求人数は９件でした。

●求職状況について

新規求職数は7名でした。前月に比べ1名増加、また、前年同月に比べ同数となっております。

新規求職数7名の内訳は、商船等7名となっております。

月間有効求職数は16名でした。前月に比べ1名減少、また、前年同月に比べ同数となっております。

月間有効求職数16名の内訳は、商船等16名となっております。

月末未済求職数は10名でした。

●成立状況について

6月は0件でした。

●求人倍率について

6月の月間有効求人倍率は、0.69倍でした。前月に比べ0.13ポイント減少、また、前年同月に比べ0.56ポイント減少となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

6月の新規求職者7名のうち離職者5名の退職理由は船舶所有者都合等で2名、自己都合3名、離職以外の方2名の求職理由は、就業中に転職を希望するもの2名となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地は、管外が4名となっております。

●失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は2名、支給延べ件数は2件で、基本手当支給金額は379,640円でした。

その他手当の支給はありませんでしたので、

総支給額は379,640円となります。

宮里部長

はい、ありがとうございました。では、ただいまの説明について何か御質問ございますでしょうか。

山内委員

私から質問よろしいですか。退職理由で船舶所有者都合等2件とのことですが、その理由は何ですか。

また、その2件については管外の事業者ということで理解してよろしいですか。

事務局（仲里係長）

求職者が求職票を提出する際に、退職理由を記載していただき、記載した内容を基に船員部会の資料を作成しております。

ご質問のあった船舶所有者等都合については、会社都合1件、定年退職1件の計2件となります。

求職票の退職理由に会社都合と記載している場合が多く、詳細については、確認することが難しい状況です。

また、お手元の資料のとおり管外の事業者2件となります。

山内委員

わかりました。

宮里部会長

ほかに何か質問等はございますでしょうか。

特にないようですので、議事3の「意見交換」に移りたいと思います。

漢那委員

昨日、沖縄水産高校を会場に実施しておりました漁業ガイダンスという取組に参加して参りました。

これは、一般社団法人全国漁業就労者確保育成センターと水産庁が実施している事業でして、沖縄水産高校を会場に以西底びき網漁業、日本捕鯨協会、遠洋鮪延縄、遠洋カツオ一本釣り、大中型旋網漁船と5つのブースが設けられておりました。

その場にて沖縄水産高校の教諭に沖縄の漁業者に対し参加の呼びかけについて尋ねたのですが、山内委員の所属する那覇地区漁業協同組合には参加の呼びかけはなかったですか。

山内委員

沖縄水産高校で開催されたのですか。

漢那委員

沖縄水産高校で漁業ガイダンスを実施しておりました。

山内委員

いつ頃かは定かではないですが、沖縄県鮪協会が沖縄水産高校で職業紹介を実施したとお聞きしております。

漢那委員

6月に沖縄鮪協会の方とご一緒に沖縄水産高校の生徒を対象に漁船の給与体系や働き方について出前講座を実施しました。

管内の漁船は、マルシップ漁船や研修を目的とする外国人船員が多く乗船する中で、日本人船員を確保する観点から沖縄水産高校の本科生を船員として確保することを目的とした取組です。

県外の漁業者団体によると、沖縄水産高校や宮古総合実業高校の生徒が漁船の船員として多く働いている現状があるとのことで、沖縄まで出向いて求人活動を行っております。

残念なことに、昨日の漁業ガイダンスには県内の業者団体が参加していなかったのが現状です。

山内委員

就業啓発という形で、漁業ガイダンスではないですけども、学校等に出向いて活動を行っております。

先日、当組合の職員が東京まで出向き活動をして参りました。その結果、1人だけですが体験乗船を希望する学生がおり、今度乗船することになっております。

漢那委員

1人でも2人でも参加する生徒が出てくれば、先輩後輩や学校でのつながりが出て希望者も増加するのではないかと思います。

ただ、学校の先生方は漁船の多くが、配当制で給与を支払っている現状について難色を示しており、基本給がはっきりしないことから、生徒に対し漁業関係の職業紹介を嫌がる傾向があります。

全日本海員組合としては、業界全体でこの問題について考える必要性があるのではないかと考えており、水産庁と協議をしている状況です。今後、給与のあり方について方針がでるのではないかと思います。

そうならば、学校側も漁業者に対して、生徒を送り込める状況、保護者に対しても勤務条件等について説明しやすい環境ができるのではないかと思います。

山内委員

漁船の場合は基本的には配当制ですね。ただ、ほとんどが個人経営なので、経営者任せになっているのが現状です。最近では法人化する漁業者も出てきております。

私どもで言いますと法人化しており、最低保証金額を定めて船員を雇用しております。ただ、海技資格がない者を雇用するだけの体力が余りないものですから、海技免状や無線免許の有資格者を優先的に雇用しているのが現状です。

漢那委員

那覇地区漁業協同組の組合長である山内委員から発言のありました海技資格の問題ですが、県外の水産高校は4級の筆記免除を受けることのできる養成施設として登録を受けておりますが、卒業時に口述試験を受験できる乗船履歴がないため、就職後に1年9ヶ月履歴を積む必要性があります。

現在、水産大学校の実習船を活用し、乗船履歴を短縮する制度が検討されていると聞きます。

山内委員

下関の水産大学校ですか。

漢那委員

そうです。下関の水産大学校です。

山内委員

4 級ですか。

漢那委員

4 級の海技免許です。

山内委員

4 級というと何トンぐらいの船舶までの乗船できますか。

事務局（仲里係長）

航行区域にもよりますが、それなりのトン数の船舶に乗船可能です。

漢那委員

今年の 2 月に農林水産省の事務次官とお話をする機会がありましたので、文部科学省及び水産庁が所管する学校の垣根を越えて、乗船履歴を緩和できる制度を確立していただければ問題提起しました。

山内委員

新しい仕組みですね。

漢那委員

そうです。漁業者にも即戦力として採用していただける状況をと。

山内委員

きていただけると助かります。

しかし、4 級海技士という高いレベルの資格を取得した方が、はたして漁船を就職先として志望するか疑問です。

漢那委員

漁船の船員を確保するために、先生方の指導方法や考え方を変えていただく取組を実施しております。

沖縄県には、マルシップ漁船や 19 トンの小型漁船も多くあるわけですから。

このまま漁船に乗る若い船員が不足した状態が続くと鯖等の海産物が気軽に食べられなくなってしまう。

山内委員

そのような側面もあるかと思います。漁船は高齢化が相当進んでいますから。外国人に海技資格を取得させて船舶を運航させる仕組みがないのが現状で、数少ない日本人がやっと船舶を運航させている状況です。私どもの組合で言いますと、できるだけ若い船員を確保するよう組合員に対して呼びかけております。幸い夏場には何名か採用することができたようです。

ただ、それだけの取組では船員を確保することは難しく、海技資格取得に必要な要件とりわけ乗船履歴が大きな問題です。

漢那委員

長いですね。

山内委員

乗船履歴の問題が水産業活性化の阻害要因になっています。海技資格取得に求められる乗船履歴について規制緩和をしていただく以外、我々の業界は発展できないと思います。
できるだけ壁を低くして欲しいものです。

漢那委員

私どもも様々な活動を展開している所です。

山内委員

ありがたいですね。

山内委員

国も広域浜プランや浜の活力再生プランと称して後継者育成の取組を実施しているところですが、人材を確保する手立てといたしますか環境が整っていないのが現状で、計画倒れのようなところもあります。このままですと日本の水産業界の環境というのは本当に厳しいものがあります。

柴田委員

昨日の漁業ガイダンスに私も同行させていただいたのですが、前回の部会でお話した無線科の生徒が、昨日の漁業ガイダンスに専攻科生2名が参加していました。

その2名の生徒はある会社の就職担当者に無線関係の就職枠があるか確認をしていたみたいです。これまでの就職状況を見ますと、海上保安庁へ就職する傾向があったのですが、先ほどお話ししたとおり漁業に興味をもつ生徒も少なからずいたため、少し明るい兆しがあるのかと感じました。

山内委員

小型漁船での通信士の役割はほとんど必要ありません。大型船なら通信士としての職が与えられていますが、小型漁船では船長が兼務している状況です。1番重要なのは、船長に必要な小型1級免許と機関長に必要な6級海技士の免許を持つ人間を2人確保することです。

船舶職員法でこの2人は最低限必要ですから、現在辛うじて別々の人間を配置しておりますけれど、その他乗組員は規模が小さいことや高齢化が進んでいるため、その他の職務については兼務させているのが現状です。

柴田委員

漁業ガイダンスに参加する生徒たちが、漁業に興味がないとかそういうことではなく最近では違う風潮にあるのかなと感じております。

沖縄水産の先生に聞きますと年々によって漁業を就職先の選択肢としている生徒が多い年があれば、そうでない年もあるということで、漁業ガイダンスもそうですが、様々な企業から就職の説明に赴いた際に興味を持つ生徒がいれば就職先とし勧めるとのことでした。

ただ、年によって興味を持つ生徒が少ない場合は、漁業だけに就職先を向けていくような指導は難しいとのことでした。

今回の漁業ガイダンス等の機会を通じて水産関係を就職先として選んでいけるような道をつくっていただければとのこともありました。

山内委員

うれしい話ですね。水産関係は限界にきておりますので、そういう意味においては、社会全体が連携できる環境があるのでしたらお願いしたいと思います。

宮里部会長

ありがとうございます。他に何かございますか。

事務局長（仲里係長）

関連してですが、来週から若年内航船員確保推進事業として、沖縄水産高校、宮古総合実業高校、八重山農林高校、八重山商工高校の生徒を対象にインターンシップを実施することになっております。

インターンシップに向けて生徒の皆さんとお話をする中で、漁船に乗って働きたいという生徒も少なからずいました。そのような点からすると柴田委員のおっしゃるとおり漁業に対する目は向いてきているのではないかと思います。

山内委員

漁船の船員として働く場合は、将来自立して船主船長として経営をしていく展望がないと挫折する子が多いです。そのような環境作りを雇う側が示していくことが常用ですし、若い子たちも将来は自分で経営をしていくという目標を持ってもらいたいものです。

山内委員

船主船長であれば儲かることができるのです。乗組員として働くだけであったらそうはならない。

昔は鮪船も売り上げが良くて、乗組員として働くだけで100万から150万もの大きな配当がありました。ところが今はもう当時の10分の1です。コンビニでアルバイトをした方がまだ良いのではないかと思えるような状況まで経済力が低下しているのが現状です。

だけれども自分からあえてそのような業界に飛び込んで、経営者としてやるんだと強い思いがあれば、まだまだ漁業も儲かる環境にあるのではないかと思います。

漢那委員

そのためにも後継者をつくらないといけないですね。船主船長になっても1人で運航できないですから、今後も様々な取組を全日本海員組合として実施していきますので、船主の皆様にも協力を願うことが出てくるかもしれません。

山内委員

そうですね。世代も少しずつ変わってきていますので。

漢那委員

何かこうして欲しいとか要望があれば、この機会でもなくてもいいので教えて下さい。法的に何ができるのか検討できるかと思いますので。

山内委員

海技資格を取得するためのハードルを下げて欲しいですね。

漁船で必要とされる6級海技士（機関）の試験対策として講習を受講しておりますのでこの場を借りてご報告させていただきます。

宮里部会長

ほかに何かご意見等はございますか。ないようであれば、事務局から連絡がありますのでお願いいたします。

事務局（金城補佐）

山内委員からお話がありました、6級（機関）の海技試験については、明日20名を対象に実施します。

また、前回の部会にて柴田委員からご要望のありました石垣での臨時試験についてですが、9月4日からの日程で実施することになりました。本日正式に公示し、石垣地区の事業者にもご連絡しております。

事務局（仲里係長）

来月の船員部会についてですが、事前にメールで調整させていただいたとおり、当初の予定である8月16日に若年内航船員確保推進事業の一環として、沖縄水産高校で中学生を対象に体験学習を実施することになったことから、8月21日木曜日の14時00分に変更し開催したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

開催通知につきましては準備が整い次第お送りしますので、出席できない場合は事前に事務局まで御連絡をお願いします。

また今回の議事録は作成次第メールで照会させていただきますので、御確認よろしくお願い致します。

以上です。

宮里部会長

はい、ありがとうございました。

それでは、本日の部会はこれで終了したいと思います。

皆さん、御苦勞様でした。